

平成 20 年 11 月 7 日

大学関係者各位

私立大学職員「人間ネットワーク」執行部会
第 21 回私立大学職員「人間ネットワーク」運営委員会

第 21 回 私立大学職員「人間ネットワーク」(京都開催)のご案内

謹啓、晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私ども私立大学職員で構成する私立大学職員「人間ネットワーク」は、従来の提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループです。

本会は、別添のとおり設立趣旨に基づき活動を続けておりますが、会を重ねる毎に本会の趣旨に賛同し参加いただく方が増え、本会が目指すところの、“大学職員のための情報交換機能を有し、且つ人と人とのつながりを大切にする”という理念が拡充しつつあり、益々「人間ネットワーク」の名にふさわしいものとなってまいりました。

今回は、京都開催ということで、京都文教大学を会場校としより多くの方々と情報交換が行なえるようにと、会場校・執行部・京都、大阪部会ともども準備を進めております。

21世紀を向かえたものの、社会情勢は日々混沌としております。故にキーワードのひとつとして今世紀は“心の時代”とも言われており、そうした世情の中にあって、我々大学が抱える問題も益々複雑かつ多様化し、大学の未来に向けて職員一人一人の資質が今以上に問われることは必至となる状況となってまいりました。

そのような時代だからこそ“人と人とのつながり”を大切にし、より多くの方々の英知を結集し問題解決への手がかりとなる場が必要であると考えます。

何卒本会の趣旨をご理解いただき、本会への参加は大学職員としての資質向上の場であると位置付けて、職員研修の一環に取り入れて頂ければ幸いです。

開催要項は別紙のとおりですので、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数のご参会をお待ちしておりますとともに、貴学が益々発展されますようご祈念申し上げます。

謹 白

【私立大学職員「人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

全入時代を迎え、これからの私立大学のあり方を模索する中で、大学を構成する一員としての事務職員も、日本の大学における激動の時代に対してどのように理解し対処すべきかを個々が所属する大学内だけで考えるのではなく、言いかえれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めることが不可欠であると考え。故に、各私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要である。

したがって、私ども私立大学職員で構成する私立大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループを目指すものである。毎回取り上げるテーマに関して種々意見交換を行えば行うほど、21世紀に向けて我々私立大学が抱える問題が複雑かつ多様化してきていることを痛感するばかりである。であるが故に、もう個々の大学における教員組織だけで直面する問題に対して思考し解決していくという状況ではなく、日本の私立大学が大学間の垣根を越え真剣に議論し、協力し合う時代の到来であると考えた時、職員は職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の情報ネットワークが必要であり、そのために私立大学職員「人間ネットワーク」の活動が不可欠であると痛切に感じるのである。したがって、より多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。私ども私立大学職員「人間ネットワーク」は、私立大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたいと切に考える。

【活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県立大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論

第21回 私立大学職員「人間ネットワーク」(京都開催)開催要項

近年の日本の職場の複雑化した人間関係、合理化と人員削減の中で増える個人のストレス、競争的環境のなかで短い期間に求められる業績や成果。現代を生きる社会人は本当にストレスに耐えながら生きていかなければなりません。それは大学という職場においても決して例外ではなく、人事考課や成果主義の導入、外部資金獲得の為の様々な企画・運営等、大学職員の職務の内容は年々多様化・複雑化をしています。一方で、4割を超える大学が定員を割るという状況の中、人員は削減される傾向にあり、個々人のストレスは年々増加しているといえます。

今回の研修では「私立大学“働き場”のメンタルヘルス」をメインテーマとし、京都文教大学産業メンタルヘルス研究所副所長川畑直人氏をお招きし、同研究所が企業管理職向けに開発された研修プログラムをベースにグループワークを含めた研修を行い、職場におけるメンタルヘルスの知識を深めます。さらに、グループ別討議においては事例を交えて情報交換を行い、特に大学という「働き場」に特化したメンタルヘルスについて考えます。

多数の皆さまの参加をお待ちしております。

<研修会キーワード>

うつ病の時代、ストレス管理、パフォーマンス向上

1. 開催日程 平成20年12月6日(土)

12:00~12:30	キャンパスツアー(希望者のみ) 受付にご集合ください。
12:30~13:00	受付(弘誓館 G104)
13:00~17:20	第1部 《研修会》 13:00~ 開式(10分) 会場校挨拶: 鑪 幹八郎 氏(京都文教大学学長) 13:10~15:30 研修会(140分) 「私立大学“働き場”のメンタルヘルス」 講師: 川畑直人氏 15:30~15:40 休憩(10分) 15:40~16:40 グループ別討議(60分) 16:40~17:20 討議の結果発表・総括(40分)
17:20~17:50	総会(30分)
18:00~20:00	第2部 《情報交換会》 恵光館1F (京都文教大学内)(120分)

講師紹介 川畑直人氏

京都文教大学臨床心理学部教授、産業メンタルヘルス研究所副所長

教育学博士、臨床心理士、(有)KIPP代表取締役

京都大学教育学部卒業後、京都少年鑑別所、京都大学助手、天理大学助教授を経て、現在、京都文教大学教授。

1997-2001年、ニューヨークのウィリアム・アラン・ホワイト研究所にて精神分析家の訓練を受ける。また、ニューヨーク同時多発テロ事件で被災した日系企業のメンタルヘルスにあたるなど、企業のリスクマネジメントを手がけてきた。著書に『心理臨床家アイデンティティの育成』(編著、創元社)、『傷つけ傷つく青少年の心』(共著、北大路書房)、『人間関係と心理臨床』(共著、培風館)ほか。訳書に、パイン『欲動、自我、対象、自己』(監訳、創元社)、パイン『臨床過程と発達II』(共訳、岩崎学術出版社)など。

2. 会場 京都文教大学 弘誓館(ぐぜいかん) G104 講義室

所在地 〒611-0041 京都府宇治市檜島町千足80

電話 0774-25-2527

3. 参加費 (当日受付で徴収します)

研修会参加費	会 員	無 料
	一般参加 (会員以外)	1,500 円
情報交換会参加費		4,000 円

4. 宿泊場所

宿泊先については30室ほど確保しておりますので、ご希望の方は別添の参加申込書の「宿泊希望欄」にご記入ください。

宇治第一ホテル

<http://www.wao.or.jp/ujidai1/index2.html>

TEL : 0774-20-3333

シングル	¥ 6,825 (税込)
------	--------------

5. 申込方法 参加ご希望の方は「参加申込書」(エクセルファイル)を、Eメール添付にてお送りください。参加費は当日受付で徴収します。

第21回人間ネットワーク参加申込書(Microsoft Excel ファイル)

申込み〆切 : 11月21日(金)

申込先 私立大学職員「人間ネットワーク」事務局 総務主管 関川 歩 (新潟国際情報大学勤務) E-mail : sekikawa (a) nuis.ac.jp (a)を@に置き換えてください

6. お願い

参加者名簿について：当日資料として「参加者名簿」を配付する予定ですので、ご了承ください。記載事項は所属大学名、所属部署名、氏名、連絡先メールアドレスです。

今回の研修のテーマに関連して、参加者が感じている「職場のストレス」を教えてください。簡単で結構ですので、1～3つ程度ご提出ください。全体研修、班別討議の際の参考にさせていただきます。(資料として扱う際に所属・氏名等は記載しません。)

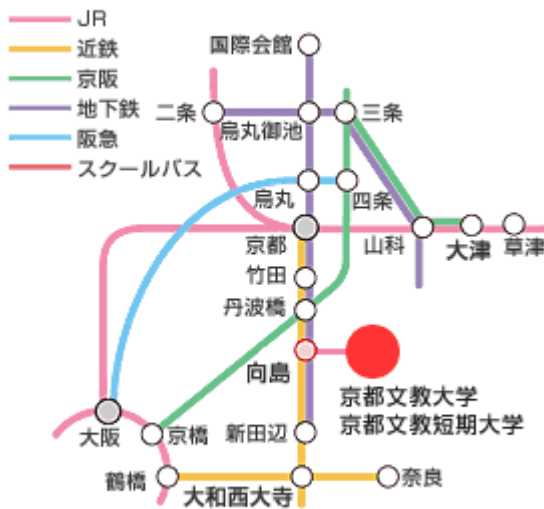
申込書に記入欄を用意してあります。できるだけご記入ください。

(例) 部下へのストレス、仕事上のトラブル、学生や保護者からの苦情、自分自身に対する上司からの評価、仕事内容・仕事量、業務の高度化・多様化、経済界との連携等

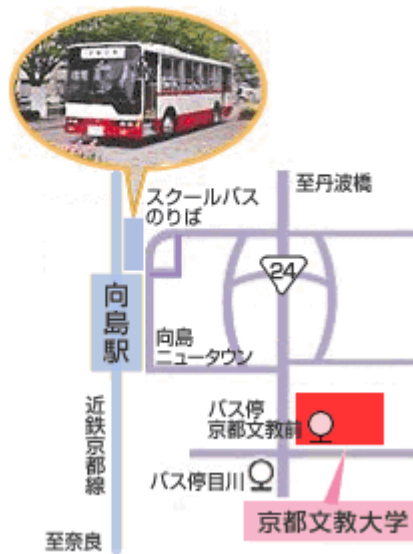
以 上

【京都文教大学までのアクセス】

◆ 交通地図 (本学への交通機関)



◆ 本学周辺地図 (駅からの詳細図)



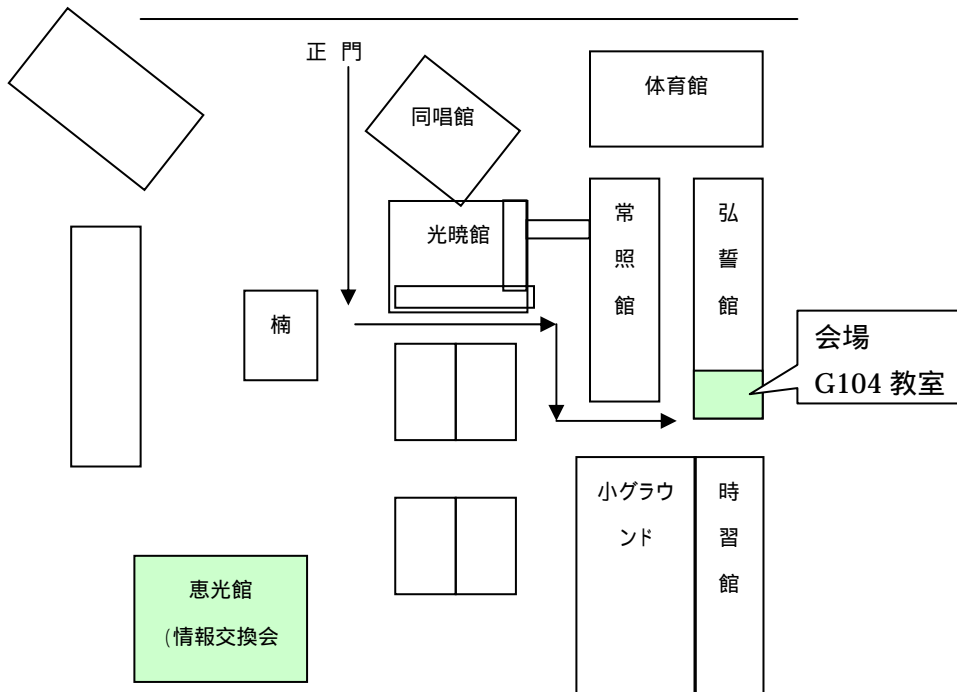
< アクセス >

近鉄向島よりスクールバスで約5分(徒歩約20分)です。

京都駅から (約25分)
 京都(近鉄)約16分 向島 約5分 大学
 京阪「三条」駅から (約25分)
 三条 約10分 丹波橋 約5分 向島 約5分 大学
 地下鉄「四條」駅から (約30分)
 四條 約20分 向島 約5分 大学

< スクールバス時刻表 > <http://www.kbu.ac.jp/kbu/bus/saturday.html>

国 道



オプションツアーのお知らせ

本会の恒例となりました、研修翌日のオプションツアーを企画いたしました。今回は、本学が位置する京都の南部地域の見所の一つ、「伏見エリア」をご案内いたします。

京のみどころ飲みどころは祇園界隈だけやおへんでえ。

日程 平成 20 年 12 月 7 日 (日)

「伏見酒蔵巡りと十石舟」 約 6,000 円 / 1 人 (昼食、チャーターバス代含む・飲み物代別)

旅程 9:20 集合 チャーターバスにて出発 (時間厳守) 集合場所は研修会時にお知らせします。

9:30 出発 - 10:20 伏見港十石舟乗船 - 11:30 昼食 (鳥聖本店) - 12:30 散策 (月桂冠大倉記念館 ~ カップカントリー (黄桜) ~ 寺田屋) - 14:00 出発 - 14:30 京都駅八条口 - 解散

必ず研修会参加申し込み時と同時に申し込み下さい。参加費は当日徴収します。

旅程は予定です。都合により変更となる場合があります。また、交通事情によりスケジュールが遅れる場合がありますので、新幹線・飛行機をご利用の方はご注意ください。

伏見・十石舟

乗船場は月桂冠大倉記念館裏弁天橋のたもとです。15 分ごとに出航し、宇治川派流にうっすらと映る白壁酒蔵等の水面の上を静かに進みます。

伏見港公園近くで折り返し、再び弁天橋へ。川面に垂れた情緒ある柳並木がそよ風に揺れるのを眺めながら、ゆったりとくつろげる往復 3 キロ、半時間の舟旅です。



十石舟は、江戸時代から明治末期にかけ、伏見と大阪を往来し、酒や米を運搬した木造舟です。伏見観光協会が 98 年秋に復活させました。

京都市や京都商工会議所、地元商店街など 55 団体が出資した町づくり会社「伏見夢工房」が運営しています。



乗船場



大倉酒造の裏側



船頭さん

大阪を經由して内外からの水運で賑わった港町伏見は、京都の玄関口でもありました。伏見港を開いた秀吉は伏見城を建て、大城下町、大商業都市を作りました。

秀吉亡き後、政権を得るため家康は、伏見に日本最初の銀座を置き、城下の整備を行うなど秀吉が愛した伏見に君臨することで、全国の大名に威令をおこなおうとしたものです。

幕末には船宿寺田屋を舞台にした事件もありました。龍馬はここを拠点に水運で大阪經由長州、長崎を往復していました。日本の将来や欧米との交流も夢見ていたようですね。今、伏見は数々の文化財と共に、商業や酒造の町として繁栄しています。



寺田屋



月桂冠大蔵記念館



長建寺

以上